

## 辺野古新基地建設反対 第12次日退教沖縄交流団（11月23日～24日）参加者募集

日退教はこれまで11次にわたり、全国各県単会から交流団を募り、沖縄県・高退教との交流を深め、辺野古新基地建設反対・キャンプシュワブゲート前行動、沖縄の米軍基地の実情などを学習してきました。

戦後27年間、沖縄は日本から分離され、憲法も自治権もなく、米軍による植民地政策下で、人権を蹂躪され翻弄され続けてきました。復帰後も、日本政府は、米軍基地を集中させ過度な負担を負わせ続けてきました。その中で、1995年の少女暴行事件が起き、沖縄の負担軽減の名の下、普天間基地の移設先が、日米合意で名護市の辺野古になりました。しかし辺野古新基地は、普天間基地にない弾薬庫や軍港を備えた機能拡大の新基地で、沖縄への新たな基地の押し付けです。

そして今、国会論議や国民への説明なしに閣議決定された安保関連3文書で、琉球列島全域への自衛隊の増強配備など、米軍基地に加えて沖縄への軍事的負担は増すばかりです。

### 第12次交流は県民大集会への参加からはじまります

行動（予定）（参加者に別途連絡します）

11月23日（木・休）午後

- ・県民大集会参加
- ・沖縄県・高退教と交流

11月24日（金）8:00～17:00

- ・キャンプシュワブゲート前行動
- ・佐喜眞美術館見学
- ・CAVE OKINAWA

うるま市にある鍾乳洞。戦時中洞窟に逃げ込んだ住民100以上はなぜ全員生き延びることができたか。

- ・車中から米軍基地の現況学習



参加費 10,000円（現地バス、見学科、交流会費他。現地までの交通費、宿泊代は各自）

募集人員 20人



参加申し込みは各単会へ

日退教への締切 11月 10日